

学術会議 IUGS 分科会 IPA 小委員会 (第 24 期・第 2 回) 議事録

日時：2019 年 1 月 25 日 10:30~12:00

場所：神奈川県立生命の星・地球博物館 2 階第 1 会議室

出席者：遠藤 (書記)、大路、佐藤、西、西田、堀、真鍋

欠席：生形、江崎

議題：

1. IPA 新役員について以下の報告がされた。

2018 年 7 月 11 日に第 5 回国際古生物学会議 (IPC5:パリ) で行われた

IPA 総会で下記の新たな役員が選出された。

PRESIDENT Dr. Sylvie Crasquin (France)

SECRETARY-GENERAL Dr. Renbin Zhan (China)

TREASURER Dr. Danita Brandt (USA)

VICE PRESIDENTS

Dr. James Crampton (New Zealand)

Dr. Khadija El Hariri (Morocco)

Dr. Tatsuo Oji (Japan)

Dr. Roger Thomas (USA/UK)

Dr. Beatriz Waisfeld (Argentina)

COUNCILLORS-AT-LARGE

Dr. Anusuya Chinsamy-Turan (South Africa)

Dr. Peter Doyle (United Kingdom, Editor of Lethaia)

2. 中国との協定締結後の動きについて以下の報告があった。

●2019 年 9 月に鄭州で行われた第 29 回中国古生物学会大会に、遠藤委員と生形委員が日本古生物学会からの代表として参加、以下の挨拶・基調講演を行った。

遠藤委員：開会時の日本古生物学会からの挨拶 (真鍋委員・日本古生物学会会長の代理)

生形委員：招待基調講演 "From morphospace to macroevolution: large-scale morphological analyses of molluscan shells" (大路委員・日本古生物学会元会長の代理)

●この中国古生物学会大会で下記の中国古生物学会の新しい執行部メンバーが選出された。

理事長：Prof. Renbin Zhan (南京地質古生物研究所)

副理事長：Prof. Tao Deng (IVPP, 北京)、Prof. Yongdong Wang (NIGPAS, 南京)、Prof. Jianxing Yao (CAGS, 北京)、Prof. Zhiqiang Bai (PKU, 北京)、Prof. Hong Hua (NWU, 西

安)

Prof. Yongdong Wang は Secretary General としても Board に参加する。

●鄭州での中国古生物学会では日中の協力について、以下のことが話し合われた。

1. 将来的な両学会の協力、
2. 2019年11月の中国古生物学会90回記念大会に日本古生物学会からの参加、
3. より広いアジア地域を取り込んだ国際的な会議を組織する可能性を話し合うこと。

●その後、さらに中国古生物学会とのやりとりがあり、2019年4月に Prof. Renbin Zhan と Prof. Yongdong Wang が来日し、“Asian Palaeontological Association”と”1st Asian Palaeontological Conference”の可能性を含め、打ち合わせを行うこととなった。

●2019年6月21日～23日の日本古生物学会総会・年会には Prof. Qun Yang（前中国古生物学会理事長、前南京地質古生物研究所長）と Prof. Yongdong Wang が他に1-2名の同僚と共に来日し、その期間に南京地質古生物研究所に併設されている博物館の化石鉱脈の標本を日本で特別展示する可能性がある。

3. 国際的な古生物関係イベントに関して以下の報告があった。

●第34回国際生物学賞は対象分野に「古生物学」が選定され、米国ハーバード大学のアンドリュー・ハーバート・ノール教授が受賞された。ノール教授は先カンブリア時代の生命進化に関し多くの卓越した研究成果を挙げている研究者である。受賞を記念したシンポジウム「初期生命の進化」は11月21日（木）に名古屋大学野依記念学術交流館で開催され、初期生命進化を研究する内外の一線の研究者（日本人1名、外国人9名）による初期生命進化に関する講演が行われ、100名を超える参加者があった。

●11月22日（木）にはノール教授と日本人7名による普及講演会が行われ、134名の参加者があった。初期生命進化、カンブリア紀の多細胞動物の爆発的進化、化石植物の古生物学、中生代の海生爬虫類、海洋プランクトン、数理古生物学、人類進化等の多岐にわたる話題が分かりやすく解説された。これらの講演はすべて同時通訳（英→日、日→英）された。これらの普及講演を通じて、一般の方々が古生物学の面白さに触れることができ、また講演会後の聴衆の反応も非常に好意的であった。

4. 大型研究計画の進展状況

●日本学術会議の地球惑星科学分科会における古生物学関係の大型研究計画の応募・審査状況について報告があった。

●地球惑星科学の夢ロードマップ改訂版の作成について、特に地球生命科学分野のマップ

の内容と作成の経緯について報告があった。

5. その他

- 大学学術標本調査の問題点と今後の対応について報告があった。
- 次回は、本年6月の古生物学会静岡年会の際に開催予定。

以上。